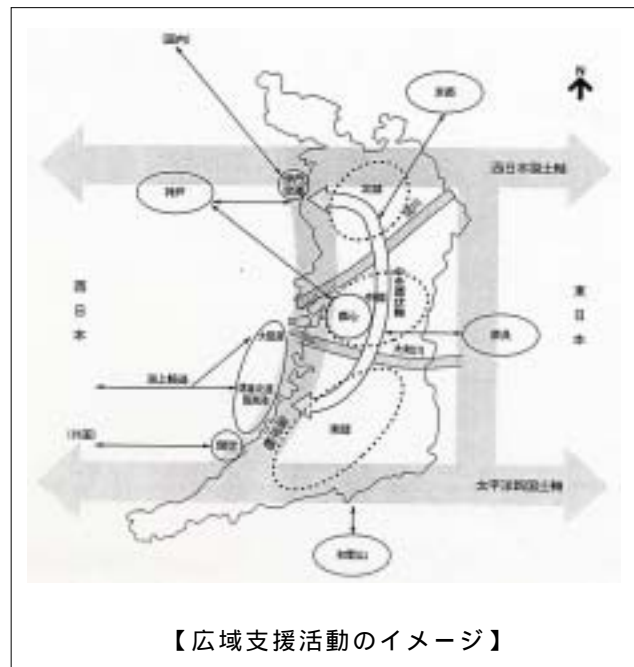
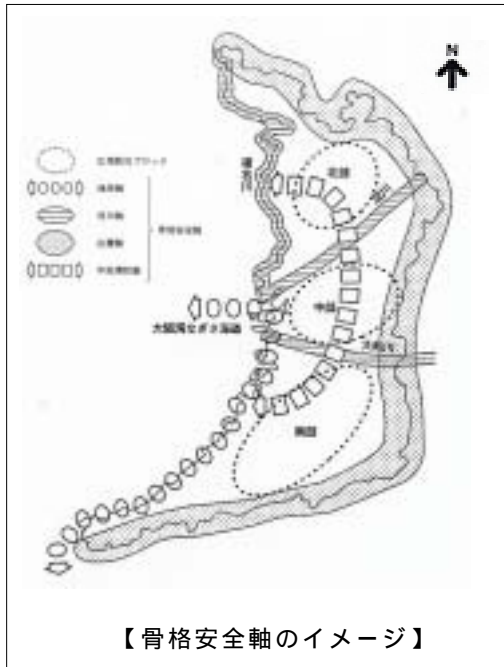


5. 広域防災上重要となる『骨格安全軸』を重点整備する。

大阪府は、湾岸部、周辺山系、大河川により3ブロック（大阪北部、中部、南部）に分節され、大阪中央環状線がブロック相互を連絡する交通動脈となっている。

広域支援の円滑化や二次災害の防止等のため、府域の骨格となる臨海軸（大阪湾岸）、山麓軸（生駒山系等）、河川軸（淀川、大和川等）、中央環状軸（大阪中央環状線）を「骨格安全軸」として整備する。

さらに、応急復旧活動の中核となる広域防災拠点や後方支援活動拠点等を分散して配置し、広域緊急交通路の強化を図ることにより、広域防災体制を確立する。



周辺山麓部の土砂災害を防止する。

土砂災害危険箇所における土砂災害対策の優先的实施。  
生駒山麓で森林の保全と育成によりグリーンベルト整備を形成し、土砂災害発生を抑制。



【都市山麓グリーンベルト整備事業のイメージ】

大阪湾岸部の安全性と港湾機能を確保する。

防潮堤や防波堤などの強化、埋立地の液状化対策等の実施。  
耐震強化岸壁、港湾緑地、これらと市街地を結ぶ臨港道路の整備充実。



【港湾における耐震強化整備】〔堺泉北港 助松地区〕

主要河川の安全性と防災機能を確保する。

淀川、大和川などの主要河川における堤防の耐震補強やスーパー堤防の整備。  
船着場、緊急河川敷道路、ヘリポート等の整備  
主要な緊急交通路の渡河橋の耐震補強。  
広域避難地となる河川空間へのアクセス道路の整備。



〔船着場の整備事例〕神崎川高浜橋下流右岸

大阪中央環状線の緊急交通路機能を確保する。

大阪中央環状線と立体交差する道路橋や鉄道橋の耐震強化の促進。  
道路緑化や沿道の公園緑地整備による広幅員の緑地帯の形成。

【主な取組】

- ・中環の森づくり
- ・一本柱橋脚等の耐震強化(平成 12 年度完了)